

# 35 天皇の祭祀〈渡邊兪〉

麗澤中学・高等学校教諭

- 1 主題** 愛国心、伝統の継承と文化の創造 <4-(9)>
- 2 本時の指導**
- (1) **ねらい** 天皇陛下の行われる宮中祭祀を通じて、ご皇室に連綿と受け継がれる伝統を学び、陛下の祈りの心を知る。そして日本人としての自覚を新たにし、日本人としての生き方を考えさせる。
- (2) **展開**

	学習活動と主な発問・期待する反応	教師の支援
A 価値の 追求・ 把握	<p>1 東日本大震災の時、天皇陛下がVTRで国民に向けてお話しをされていたのを見た人はいますか。</p> <p>2 計画停電中に、宮中でも率先して停電・節電に協力されていた陛下のエピソードを紹介する。 ※天皇陛下が国民にたいしてどのような心でいらっしゃるかを紹介し、そのころに関心を持たせる。</p>	<p>・天皇陛下が語りかけられた言葉をかみ砕いて紹介し、陛下の御心を感じさせる。</p> <p>・当時の国民の様子を理解させることで、陛下の真意をより深く感じさせる。</p>
	<p>3 皆さんはお正月、神社に初詣に行きましたか。</p> <p>4 資料の「宮中祭祀」の部分を読む。(p.250～253-2行目)</p> <p>5 天皇陛下のお参りは、朝早かったり、特別な着物に着替えているね。天皇陛下はどんなお気持ちだろう。 ◇朝早くからやらなきゃいけないから大変そう。 ◇寒くて辛そう。 ◇着替えとか作法とか細かく決まっていて大変そう。 ※侍従長は肉体的苦痛を避けたくて正座の稽古をしていたが、陛下は「前向きで、澄んだ、清らかな心で祭祀に向かいたい」、とおっしゃったエピソードを紹介。</p> <p>6 資料を読む。(p.253-4行目～254-最終行) ※歴代の天皇(御祖先)のお祭りをされるだけでなく、その人物、御事績などについてもしっかりと学ばれていることを理解する。</p>	<p>・時間帯や、気候や、作法など、大変そうに感じられる中で、お参りをされていることを理解させる。</p> <p>・大変なお祭りをする意図について考えさせる。</p> <p>・単にお祭りをしているだけでなく、お祭りにしっかりと意味を持って陛下が行っていることに気付かせる。</p>

B 内面的自覚	<p>7 いくつかのエピソードを紹介する。 ・平成6年のアメリカ訪問の際、沖縄全戦没者追悼式に合わせて黙祷を捧げられるため、晩餐会の時間を遅らせてもらったエピソード。 ・平成16年の植樹祭で、足元で陥没がおき、古墳が発見されたとき、陛下は陥没で落ちた方を心配したエピソード。 など</p> <p>8 今のエピソードに共通するところは何だろう。</p> <p>9 テキスト最後の段落を読む。(p.255)</p>	<p>・陛下のお心が常に国民のことを心配され、幸せを願われていることに気付かせる。</p>
	<p>10 教師の話聞く。 ・陛下は常に国民のことを気にかけておられ、ご自身のことよりも国民のことを……と思っていられる。地震があれば、すぐにテレビの速報を見て国民に災いがないか心配され、災いがあれば自分の休暇を取りやめたり、被災地へ行って励まされるなど、つねに国民に心を寄せてくださっている。私たちは、陛下の思いやりに応えるよう、様々な活動を頑張らなくてはいけない。</p>	<p>・教師の話聞き、余韻を持って授業を終わる。</p>